

## 大分県

届出事業所からの「水域へのヒトに対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和3年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大分市	964,570	ヒドラジン 796,800	セレン及びその化合物 30,000	アンチモン及びその化合物 25,000
2	別府市	138,467	砒素及びその無機化合物 120,010	ほう素化合物 9,934	マンガン及びその化合物 5,086
3	日田市	111,573	EPN 51,816	チウラム(チラム) 3,111	1,1,2-トリクロロエタン 3,111
4	佐伯市	48,528	EPN 32,249	水銀及びその化合物 2,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 2,000
5	国東市	30,689	EPN 12,835	ふっ化水素及びその水溶性塩 776	チウラム(チラム) 765
6	津久見市	27,043	EPN 10,540	6価クロム化合物 1,550	ふっ化水素及びその水溶性塩 650
7	臼杵市	20,748	EPN 13,124	1,4-ジオキサン 782	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 772
8	速見郡日 出町	20,478	EPN 14,450	6価クロム化合物 850	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 850
9	杵築市	17,257	EPN 6,086	四塩化炭素 2,700	水銀及びその化合物 400